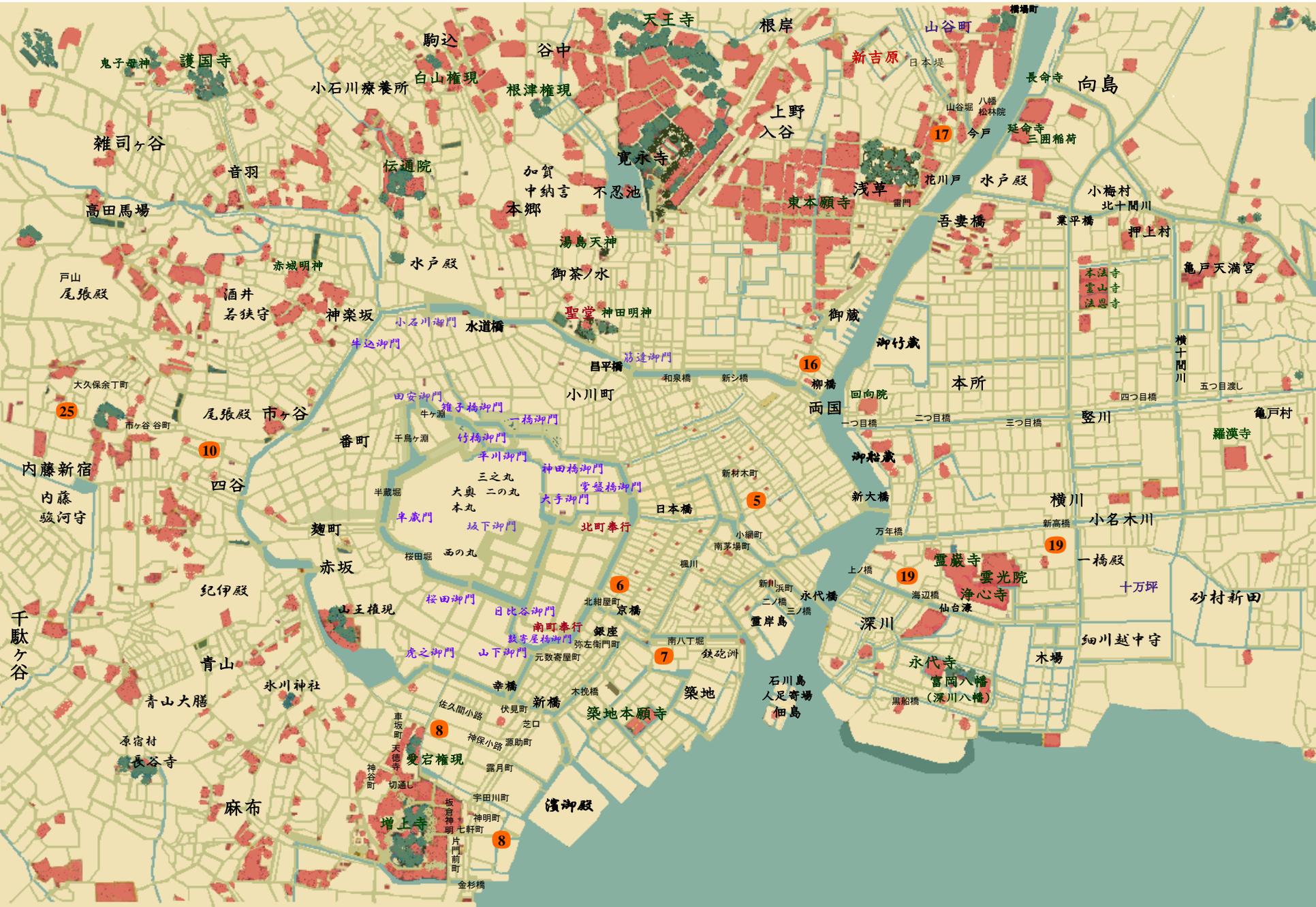


# 英泰伯佐 恨遺 劍ノ影・10命密



かなすぎそうざぶろう  
金杉惣三郎（浪人 元相良藩江戸留守居役） — しの（妻）、結衣（娘）

あやめ（亡き妻）、清之助（息子）、みわ（娘）

せいぞう  
長屋：勢三（豆腐屋）、うおつね  
魚常（魚屋） — おつぎ（女房）、や おきゅう  
八百久（八百屋）

にいじまや  
新島屋（乾物屋）、りゅうぞう  
柳蔵（旅支度東海屋の番頭）、うた も じ  
歌文字（三味線の師匠）

こうきち かに  
高吉（蟹床）

こうじんやしはち  
荒神屋喜八（火事始末御用）

まつぞう  
松造（小頭） — お由（元ととやの女中）

とめ（人足） — ごんろく  
権六（亡き亭主）、よしきぶろう  
芳三郎（三男）

なかじ わしち とみきち しんた ち よまつ きゅうはちろう  
人足：仲次、和七、富吉、新太、千代松、久八郎

かんあみぜんべえ  
冠阿弥膳兵衛（芝神明の札差） — さき（女房）、じいちろう  
治一郎（息子）、ちゅうぞう  
忠蔵（番頭）

とうごろう  
登五郎（芝蔭若頭） — お杏（女房 冠阿弥の娘）、半次郎（息子）

たつきち とび  
辰吉（源助町蔭の総頭取） — つや（女房）

さんじ しょうへい まとい  
三次（蔭）、昇平（蔭）、新太郎（纏持ち）、弘吉

まんさく  
万作（昇平の友 芝浦の漁師）

いわみてつたろうなりむね  
石見鍔太郎成宗（一刀流道場主） — お麻（内儀）

いたみ  
伊丹五郎兵衛（師範格）、むなかた  
棟方新左衛門（流浪の剣士 津軽ト伝流）

たけただ むつ  
北沢毅唯（陸奥国三春藩秋田家中刀番）、はやみ  
速見さよ（厩番の娘）

ぼん えもん くちき  
出島伴右衛門（福知山藩朽木家家臣）

よねつかん べえ ひたち  
米津寛兵衛（常陸鹿島 石見の師）、こうきち  
甲吉（下男）、あまぞう  
雨蔵（老爺）

かじやま えどり  
梶山隆次郎（師範）、絵鳥修太朗（師範）、たねぞう  
市橋種三（師範）

さだゆう  
奥山佐太夫（心貫流）

けいあん  
溪晏（八丁堀の医者）

とうはく  
田辺董伯（神谷町の外科医）

げんしち  
源七（ととや）、つね（少女）

だいこく ゆ しょうきち  
大黒湯 熊五郎（湯屋）、正吉（三助）

かねしち  
伊吹屋金七（京橋の薬種問屋） — お玉（内儀）

はづき  
葉月（娘）、佐一郎（息子）

ひきむら しもつけのこく  
久村定次郎（下野国茂木藩江戸勤番）、護一郎（茂木藩元締格） — おりく（娘）

てづま わびすけ  
手妻の侘助（頭分 火付け盗賊）

しゅけんぼうぎざん  
峻険坊魏山（里役小角頭領）

ごりょう  
翻稜（東山繁多寺 和尚）

徳川吉宗（八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄円院）

齋木高玖（豊後相良藩主） — 麻紀（正室 紀州新宮藩息女）

有馬兵庫守氏倫（御用取次）、加納近江守久通（御用取次）

徳川継友（尾張藩主）、宗春（弟）

水野和泉守忠之（老中）

柳生兵助（尾張柳生後継）、一ノ木平五郎（柳生）

佐古神次郎右衛門（家老職）

七人衆：赤星治郎平、板杖燕之丞、木場柳五郎、龍光寺兵造

杉村久右衛門（用人）

大津源旗、鎌足大海、鯨内天巖

佐々木治一郎（御側衆 長男）、次郎丸（次男）、三郎助（三男）

金春小次郎実篤（能楽師）

牧野勝五郎（与力）

上野孫十郎資常（甲賀者）、おかね

大岡越前守忠助（南町奉行）、織田朝七（内与力）

伴佐七（井蛙流 石河派）

時蔵（密偵）、多津（密偵）

鷺村次郎太兵衛（影ノ流）、元次

西村桐十郎（北町同心→南町同心） — 野衣（妻）、晃太郎（息子）

堀田正東（近江 宮川藩主）

真作（小者）

板取五郎左衛門（家老）

花火の房之助（岡っ引） — 静香（女房 踊り手習い師匠）

信太郎（手先）、三児（下っ引）、猪之吉（下っ引）、海蔵（下っ引）

花房職勝（旗本）、島村杉平（用人）

熊吉（下っ引） — うめ（孫娘→女中）

多野村三五郎、海部又兵衛（東軍一刀流）

坂崎十八郎（南町隠密同心）

長太郎（伏見町の御用聞き）、千太（手先）、文吉（手先）